

「新庁舎建設計画の見直しについて」意見募集結果（概要）

1. 意見等提出実施状況

(1) 意見募集期間 平成28年7月1日（金）～平成28年7月20日（水）

(2) 意見の応募者数など

応募者数及び男女別		26人（男性18人・女性8人）							
年 代 別		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
			—	—	—	—	2人	12人	9人
地 区 別	旧多聞小学校区	1人							
	旧千早小学校区	4人							
	旧小吹台小学校区	12人							
	旧赤阪小学校区	9人							

(3) 提出方法

郵送	F A X	電子メール	持参	計
1	6	3	16	26

2

2. 「代替案」に対する意見（抜粋）

（1）代替案に対する意見

※下表は今回の意見募集による代替案です。決定したものではありません。

項目	村が住民説明会で示した代替案		今回の意見募集による代替案		
	代替案①	代替案②	新たな代替案①	新たな代替案②	新たな代替案③
方向性	くすのきホールを改修し、新庁舎に転用	現庁舎の位置で建替え	村民運動場に新庁舎を建設	富田林高校分校跡地に新庁舎を建設	くすのきホール駐車場に新庁舎を建設
提案数	2	14	2	2	1
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現庁舎を道の駅に利用 ・ アクセス道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高低差のある敷地を同じ高さとし一体的に利用 ・ 危険区域内のため防災対策の強化、災害拠点機能の維持 ・ 1階駐車場、2、3階執務室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンパクトな庁舎整備 ・ 村民運動場の代替地として分校跡地を利用 ・ 仮庁舎が不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に取り組んだ事業で地質調査などを実施しているため資料が活用でき経費削減が可能 ・ 今後の村の発展に期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 併せてくすのきホール大ホールの改修、郷土資料館の存置、くすのきホール・いきいきサロン・保健センターを有効活用

(2) 主な意見（順不同）

【建設候補地に関する意見】

- ・ 建設地はくすのきホールの駐車場が良い。また、くすのきホールの照明設備等は簡易な設備に改装、資料館は現存のまま使用、保健センターなどの既存施設を有効活用する。
- ・ 現庁舎での建替えを望む。後世に負担をかけることのないよう堅実な計画検討を切望する。できるだけ経費を抑制してほしい。
- ・ 現庁舎の位置での建替えを希望する。特に「災害拠点としての維持確保」、「総合窓口の設置」、「いかに経費を抑えるか」について検討すべきである。
- ・ 建設地は現庁舎が良い。ただし、防災拠点の整備を危険区域内で行わざるを得ない。この場合、新庁舎の耐震性の強化、役場機能の集約化による事務処理の迅速化などの対策が必要である。
- ・ 建設地は高齢化が進む中、最も利便性の良い現庁舎が良い。また住民が利用しやすく、職員が働きやすいことを踏まえ、よりシンプルなものにすべき。
- ・ くすのきホールを新庁舎にして旧庁舎を道の駅としてはどうか。財政収入面のことを考えて道の駅、ロープウェイなどの活用など収入を重点に置いてはどうか。
- ・ 建設地は旧富田林高校分校跡地が良い。過去に取り組んだ調査資料も使用でき経費を抑制できる。また、分校跡地に建設すれば、今後の村の発展が期待できる。
- ・ 建設地は村民運動場が良い。どこからでもアクセスが良い。建設費は10億円程度でコンパクトに。村民運動場は、分校跡地を利用

4

する。

- ・建設地が村民運動場の場合、仮設庁舎が不要、仮引っ越しの煩わしさが無い。分散業務をせずに済む。また、村にはコンビニが一つもない。活性化を図る上においても人が集う施設は必要で、現庁舎の跡地は最適な場所である。

【庁舎建設に関する意見】

- ・庁舎は村の規模に見合ったコンパクトなもので良い。ただし防災拠点となる施設だから耐震化には十分配慮する必要がある。
- ・既存の各施設の拡充も視野に入れた建設計画を考える必要があるのではないか。
- ・住民説明会での回答で「職員が少ないから」を言い訳にせず、積極的な情報開示をすること、高齢者でも就労できる産業を開拓し、税収アップと高齢者の生きがい対策をお願いする。
- ・コスト削減の観点から、外観よりも機能に重点を置き、内装や調度・備品などもできるだけシンプルなものにすることが望ましい。
- ・庁舎はもっと行きやすい場所を考えるとともに、この機会に合わせて連絡所の改築も考えてほしい。
- ・小吹台連絡所はありがたい。後2、3ヵ所、各地区に設置してはどうか。本村のような過疎自治体では「行政組織、防災拠点、サービスの集約化」より逆に「分散化・細分化」があるべき方向ではないか。
- ・職員数も減少している中、庁舎の広さを狭めるべき。また、コンビニ機能やJA機能を一体化させて建築し、貸付ければ建築コストは抑制できるのでは。
- ・住民説明会は出席できなかったが、広報紙などで質問や回答を見て準備が不十分だったと言わざるを得ない。しっかり再度洗い出しを行い、検討すべき。
- ・庁舎は、大震災に負けない建物が望ましい。大震災の時、職員が安全に業務を遂行できる建物とし、数十日間の生活を想定した食糧

などを設置可能な建物とするべき。

- ・避難のことも考えてくすのきホールを残すことも大事。集会や文化の発展のためにも必要。

3. 今後の進め方

今後、「村が示した代替案」「住民説明会で提案された代替案」「今回意見募集により提案された代替案」の課題・諸条件などを整理し、代替案を絞り込む予定です。検討結果については、広報紙や村ホームページなどにより住民の皆さんに情報提供する予定ですので、皆さんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。